

2024 ①
3/31

日時:3月31日(日)13:00~16:30
会場:ぎふメディアコスモス (詳しくは裏面に)
かんがえるスタジオ 1.2

参加費:無料 予約不要 (資料代:500円)

シンポジウム

※ 同会場にて10:30~12:30
伊勢湾と長良川に関わるパネルと資料を展示します。
ゆっくりご覧ください。

海と川

—講演—

今の伊勢湾

伊勢湾の環境悪化の推移と今日の問題

●講師:「海の博物館」館長 平賀大蔵さん

—報告—

伊勢湾の水産業をめぐって 新美貴資さん (フリーライター)

長良川との暮らし 平工顕太郎さん (長良川漁師)

—討論—

●コーディネータ 富樫幸一さん (岐阜大学名誉教授)

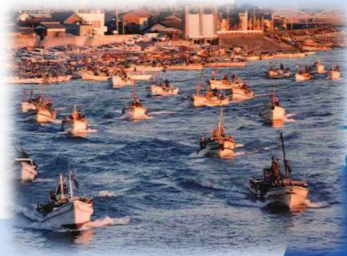
●パネラー 平賀さん、新美さん、平工さん

総合司会/三石朱美さん
一般社団法人 JELF (日本環境法律家連盟) 事務局

伊勢湾の環境と漁業の
現状を知り
明日の長良川を考える

主催:よみがえれ長良川実行委員会

(連絡先:090-1284-1298 長良川市民学習会 武藤)



2024/3/31 SUN

シンポジウム

海と川

伊勢湾に春を告げていた小女子(コウナゴ)が姿を消してこの春で9年目。

かつて溢れるほどいたアサリ、アナゴ、カレイ、タコ、エビ類、アワビなどの不漁や、魚が生まれ育つ藻場の激減など、海の異変が伝えられています。

冬を海で過ごしていたアユやサツキマスは、今年、長良川にもどって来るでしょうか。

新美貴資 (にいみ たかし)
フリーライター



愛知県名古屋市生まれ。長崎大学水産学部卒業。東京の水産業界紙で約8年働いた後、フリーライターになり東海地方を中心に水産業を取材し、情報発信する。現在は、人間と魚のつながりを主なテーマに取材を続けている。



平賀 大蔵 (ひらが だいぞう)
鳥羽市立海の博物館 館長

1953年 三重県生まれ

1981年から「海の博物館」に勤め三重県沿岸を中心に漁村資料の調査・収集等に携わる。

2018年から「鳥羽市立海の博物館」の館長海と人間のかかわり方や環境の問題を考える情報誌「海とにんげん&SOS」の編集人

平工 顕太郎 (ひらく けんたろう)
長良川漁師

長良川に6艘の漁船を所有する現役世代。河川漁業を主軸に川魚の6次産業化や魚食普及ほか、和船を活用したツーリズム事業、和船保全など幅広く清流文化を継承。行政および教育機関等と連携した流域担い手育成事業、海洋教育講師など兼任。農獣医学部水産学科卒。



富樫 幸一 (とがし こういち)
岐阜大学名誉教授

山形県酒田市出身。経済変動と地域経済の研究が専門。地域おこし「まちづくり」の活動に力を注いでいる。「ブラタモリ」の案内役も務めた。現在、愛知県長良川河口堰最適運用検討委員。

三石 朱美 (みついし あけみ)
一般社団法人JELF (日本環境法律家連盟) 事務局

名古屋在住。2010年の生物多様性条約COP10をきっかけに生物多様性条約COPに継続して参加し、世界中のNGOや先住民などの代表者との関係を深めている。



【会場のご案内】

岐阜市司町 40 番地 50 ☎058-265-4101

電車でお越しの場合

JR 岐阜駅または名鉄岐阜駅から徒歩約 25 分
駅からバスでお越しの方は、下記をご参照ください。

バスでお越しの場合

「岐阜市役所・メディアコスモス」バス停下車すぐ
「市役所・メディアコスモス西」バス停下車すぐ
「市民会館・裁判所前」バス停下車すぐ
「市役所・鶯谷高校口」バス停下より徒歩 3 分

車でお越しの場合

有料立体駐車場 (メディアコスモス東側) 100 円/30 分
館内利用者は、入庫から 2 時間無料 (「認証機」を通してください)

